

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 9月 1日

組織名 【長崎県民主医療機関連合会労働組合】

施設名 【健康会ヘルパーステーション】

職場・所属 【介護部】 5名

【賛同者の名前やメッセージなど】

小川 恵 田中加津子 梶原文子

柴原千恵紀 柿本隆幸

戦争を永えに放棄すると誓った憲法を変えてまで
戦争と云ふ結果を成立させるなとせよ!

子供や若者に平和な暮らしを望むため この法案に絶対反対!



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015 年 8 月 28 日

組織名 【長崎県民主医療機関連合会労働組合】

施設名 【訪問看護ステーションおゆせ】

職場・所属 【 】 5 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

梅枝千代子、長島広子、本田サキ、沖田サトシ
森武孝

他国とは、国際協力や信頼関係を築いて、どんな状況になっても戦争に発展しないような政治外交を目指すべき。私たちの職場は「戦争法案」には絶対反対です。



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来 60 年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015 年 9 月 3 日

組織名【長崎県民主医療機関連合会労働組合】

施設名【上戸町病院(上戸町分会)】

職場・所属【栄養課】12 名

【賛同者の名前やメッセージなど】



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

平成27年9月2日

組織名【長崎県民主医療機関連合会労働組合】

施設名【戸田ふくしすず】

職場・所属【うちんがた戸田】12名

【賛同者の名前やメッセージなど】

